

集中改革プランの目標値の設定をどのように考えればよいか。

現行の経営再生プログラムは、経常収支比率が110%前後を推移するという財政収支試算に対し、処方箋に基づく取り組みを裏付けとして、H19年度の経常収支比率を105%と設定するなど、実現可能な目標を設定しており、現時点において成果をあげてきている。

(1) 経常収支比率の目標をどこに設定するか？

(単位:百万円)

財政収支試算

H22年度の不足額30億円

	H17	H18	H19	H20	H21	H22
経常一般財源	24,763	24,149	22,804	22,769	22,605	22,598
経常経費	24,946	25,629	26,108	25,635	25,662	25,601
経常収支比率	100.7%	106.1%	114.5%	112.6%	113.5%	113.3%

仮に、経常収支比率100%をめざすとすると、H22年度において30億円の経常経費削減・・・

公共施設の統廃合、事業の大幅な見直し、アウトソーシングの実施など、どこまで実施するか。

【公共施設の統廃合の例示】

小学校 1校あたり 74百万円
図書館 1館あたり 56百万円

【アウトソーシングの例示】

学校給食1校(3人相当) 15百万円
ごみ焼却炉運転(9人相当) 28百万円

【事業見直し廃止の例示】

事業廃止 1事業あたり 1~8百万円
上乘せ横出しの見直し

【歳入強化の例示】

広告事業 0.3~2百万円
受益者負担の適正化

いずれもあくまで例示であり、金額は参考のための概算額

その他の選択肢

H22年度に目標とする経常収支比率	105%	100%	95%	90%
H22年度に削減すべき経常経費	18.7億円	30億円	41.3億円	52.6億円
単年度あたりの削減すべき経常経費	4.7億円	7.5億円	10.3億円	13億円

集中改革プランの目標値の設定をどのように考えればよいか。

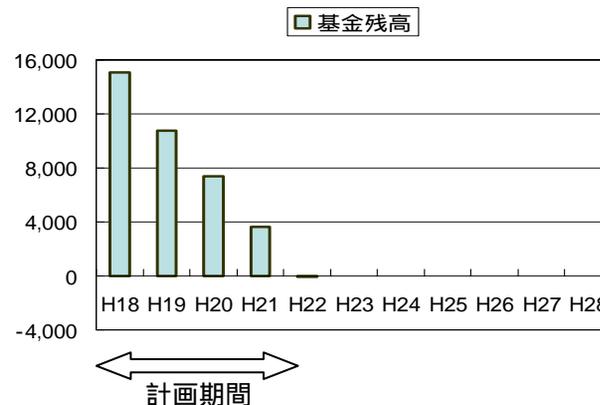
(2) 収支不足のない行政運営をめざす。

(つまり、一般財源と充当一般財源を均衡。市債発行も基金取崩も行わずに行政運営。)

財政収支試算

(単位:百万円)

	H18	H19	H20	H21	H22
一般財源		25,403	25,315	25,046	24,997
充当一般財源		29,690	28,742	28,765	28,728
単年度収支		4,287	3,427	3,719	3,731
基金残高	15,079	10,792	7,365	3,646	85



このままの行政運営を続ければ、H22年度には基金が底をつく。

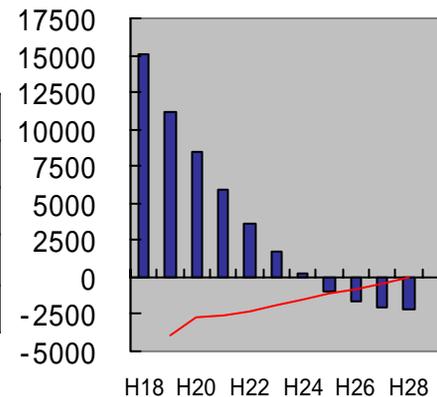
シミュレーション

）毎年度3.7億円削減 基金はH25で枯渇

(単位:百万円)

	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
単年度収支		4,287	3,427	3,719	3,731	3,731	3,731	3,731	3,731	3,731	3,731
市支出削減額		370	740	1,110	1,480	1,850	2,220	2,590	2,960	3,330	3,700
単年度収支再計算		3,917	2,687	2,609	2,251	1,881	1,511	1,141	771	401	31
基金残高	15,079	11,162	8,475	5,866	3,615	1,734	223	918	1,689	2,090	2,121

■ 基金残高 — 単年度収支



集中改革プランの目標値の設定をどのように考えればよいか。

(2) 収支不足のない行政運営をめざす。

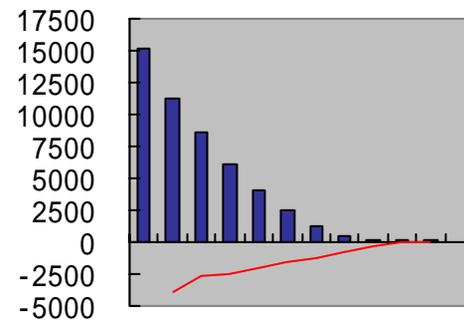
(つまり、一般財源と充当一般財源を均衡。市債発行も基金取崩も行わずに行政運営。)

）毎年度4.2億円削減 基金はH27で回復

(単位:百万円)

	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
単年度収支		4,287	3,427	3,719	3,731	3,731	3,731	3,731	3,731	3,731	3,731
市支出削減額		420	840	1,260	1,680	2,100	2,520	2,940	3,360	3,731	3,731
単年度収支再計算		3,867	2,587	2,459	2,051	1,631	1,211	791	371	0	0
基金残高	15,079	11,212	8,625	6,166	4,115	2,484	1,273	482	111	111	111

■ 基金残高 — 単年度収支



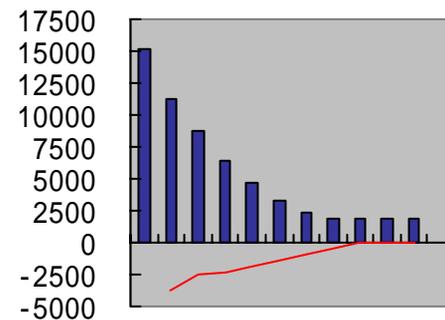
H18 H20 H22 H24 H26 H28

）毎年度4.7億円削減 基金はH26で回復

(単位:百万円)

	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
単年度収支		4,287	3,427	3,719	3,731	3,731	3,731	3,731	3,731	3,731	3,731
市支出削減額		470	940	1,410	1,880	2,350	2,820	3,290	3,731	3,731	3,731
単年度収支再計算		3,817	2,487	2,309	1,851	1,381	911	441	0	0	0
基金残高	15,079	11,262	8,775	6,466	4,615	3,234	2,323	1,882	1,882	1,882	1,882

■ 基金残高 — 単年度収支



H18 H20 H22 H24 H26 H28